

(受理番号) 5-8	(受理年月日) 令和5年6月19日
件名 要旨	陳 情
	<p>香川県立アリーナの設計変更について</p> <p>サンポート高松に建設中の香川県立アリーナの設計は、開放的な空間と独創的なデザインとなっているが、コンサートなどのエンタメ公演開催を前提とした場合、国内の他の施設と異なり、コンサートステージの真後ろからお客様を入場させるという特異な設計を採用している。この特異な設計に伴い、風の吹き込みが舞台セットに及ぼす影響が深刻な懸念となっている。</p> <p>具体的には、舞台セット及び通常コンサートステージの後方に吊り下げられる大黒幕（おおぐろまく）へ直接、外部（メインエントランス入場口）から風が吹き込む可能性がある。</p> <p>これは「吊り点への予期せぬ負荷」、「舞台セットへの接触」、「公演中の舞台セットの揺れ」など、他施設では想定されない危険な状況を招く。</p> <p>また、お客様を招き入れるメインエントランスがステージ後方となるため、公演中もエントランスを消灯することは運営上、不可能となる。</p> <p>しかし、公演実施にあたりステージの背面は、完全に暗転していることが必須となり、についてはイベント演出、イベント運営の両面から鑑みメインエントランスに、照明の明かりを遮断する壁面の常設が必須と考えられる。</p> <p>併せて、メインエントランス、交流エリアを含む外周エリアは、客席上部からの明かり漏れを軽減させるため、LED照明とし、調光できることが必須と考えている。</p> <p>そこで今回、コンサートの専門家から得た意見を元にした対策として、2点、設計変更について陳情する。</p> <p>1. メインエントランス全体を覆う風除室の設置</p> <p>お客様が入場する際の風の吹き込みを軽減させるため、メインエントランスの扉全体を覆う形状の風除室の設置を提案する。</p> <p>この変更により得られる効果として、外部からの風の影響を大幅に軽減されるとともに、「現在一枚扉で設計されているメインエントランスからの音漏れ問題の低減、メインエントランスの運営照明の確保」が可能となる。</p> <p>施設の変更に伴う安全性の確保は、エンタメ業界内での香川県立アリーナの評価に大きく影響する。特に、大規模な興行を行うアーティストやイベントプロデューサーは、安全性に問題があると認識された施設の利用を避ける傾向にある。また、効果的なステージ演出を妨げる施設、及び公演の運営に支障を来す施設は、公演の会場候補として選定されることはなく、コンサート誘致を行えない場合、施設運営の収益にとって根本的な問題が発生する。</p> <p>2. 交流エリアを含む外周エリアのLED照明、及び調光機能の付与</p>

公演中においても、交流エリアを含む外周エリアは、お客様の移動や運営上の作業等において、一定程度の照明を確保する必要がある。

そこで、全国のアリーナを利用する専門家からのアドバイスでは、外周エリアにおいてはLED照明を採用し、照明一つ一つの明かりを調整する細やかな調光機能を付与することで、外周エリアの明かりがイベント演出へ干渉することを回避できるとの見解である。これにより、運営に必要な最低限の照度を確保しつつ、イベント演出に干渉しない環境を作ることが可能となる。

そのため、照明設計の変更においても改めて検討し、実行に移していただきたい。

以上のように、施設のオープン後に問題を修正するのではなく、現段階で想定される問題を排除することが重要となる。

最後に、風除室の形状や配置については、消防法やその他の関連法令、設計関係者や施工関係書と共に慎重に検討しなければならない。また、LED照明については、外周エリア（メインエントランス、交流エリア等）に触れているが、競技面（アリーナ面）においても採用することも併せて検討が必要である。

これは当然、相応の時間と予算の見直しを伴うことを理解している。

しかし、ここで述べた変更点は、本アリーナを安全で快適な施設とし、これから長く多くの県民に喜びと感動を提供する施設とするために、そして何よりも高品質で洗練されたサービスを提供できる施設となるために絶対に必要な事項である。

これは施設の質そのものを左右する重大な決定事項であり、その重要性を念頭に置いて検討を重ねていただきたく、私どもは強くこの設計変更について陳情する。